

新型コロナウイルス感染症拡大防止における大阪樟蔭女子大学の活動指標

活動制限レベル	0	1	2	3	4	5
	制限なし	制限-最小(一部制限)	制限-小	制限-中	制限-大	制限-最大(原則停止)
授業実施	通常	対面による講義、演習、実験・実習を実施する。	対面による講義、演習、実験・実習を実施するが、できるだけ遠隔授業を推奨する。	原則遠隔授業のみとするが、どうしても学内の実験実習施設を利用しなければいけない実験実習科目に限り、「3密」を徹底して避けることを前提に、対面授業の実施を一部認める。	原則遠隔授業のみ	遠隔授業のみ
課外活動・自主的諸活動	通常	感染拡大に注意して実施する。	感染拡大に最大限注意して実施する。合宿・バス遠征ほか、「3密」が避けられない活動は中止する。	感染および感染拡大防止の取り組みが十分に実施できると認められた団体に限り、規模や内容を制限した活動を認める。	原則、学内外問わず全面禁止。ただし、オンラインミーティングは可とする。	学内外問わず全面禁止。ただし、オンラインミーティングは可とする。
式典・イベント	通常	必要性の高い式典・イベントのみ、感染拡大に注意して実施する。	不要不急のイベント、「3密」を伴うイベントは自粛する。	イベントは原則延期または中止する。	イベントは原則延期または中止する。	全てのイベントは延期または中止する。
学生支援体制	通常	感染拡大防止への配慮を行いつつ通常の支援業務を行う。	電話、メール、オンライン会議システム等を活用したオンラインでの学生支援を併用しつつ、一部制限を加えながら対面での支援業務を行う。	電話、メール、オンライン会議システム等を活用し、オンラインでの学生支援業務を行う。	電話、メール、オンライン会議システム等を活用し、オンラインでの学生支援業務を行う。	電話、メール、オンライン会議システム等を活用し、オンラインでの学生支援業務を行う。
学生等の入構	通常	入構可	入構制限 原則入構可であるが、授業履修者と特別に許可された学生に制限	入構制限 原則入構禁止であるが、授業履修者と特別に許可された学生にのみ入構を許可する。	原則入構禁止 「3密」の徹底回避を前提に一部入構・施設利用を許可することがある。	入構禁止

<活動制限レベルの設定および措置について>

- 活動制限レベルの設定は、国内全体、地域、学内での感染状況ならびに政府等による要請のレベルを総合的に勘案して学長が決定する。活動制限レベル設定に際しては、「(別表)活動制限レベル設定に関する判断基準」を参照する。
- 活動制限レベルに準拠した具体的な措置・対応ならびに表中に記載のない事項への対応については、学長が各部門の責任者の意見を聴いて決定する。
- 学内で感染者が発生した場合、クラスターが発生した場合には、自治体からの要請にもとづいて一時的にキャンパス入構禁止措置を行うことがある。